

○問21 次の項目のうち、あなたが「複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）」を利用する上で（または事業所を選ぶ上で）大切だと思うことは何ですか。最大5つ選択いただき、下記口枠の中にご記入願います。

・利用者は自宅から施設へ移り不安も多いはず。そんな中、介護スタッフのサービスにより心の安心を与えていただける事がありがたい。今後も施設の方々の協力をお願いしたい気持ちであります。

・こちらが挨拶をしても知らん顔している人が居る。本当に気分が悪い。

・認知症の母を持病のある父が一人で自宅で介護を8年続けてきましたが、とうとう父が体調を崩し自宅で看る事ができなくなりました。そんな時も母を預ってもらい、とても助かりました。面会時には、職員の皆様が優しく対応して下さり感謝しています。

・同じスタッフだと本人も安心する為。ケアマネジャーがいると状態について相談できる。

・訪問ヘルパーがもう少し丁寧に注意が行き届いて欲しい。

・利用者が一人で遠方に外出してしまい、警察に保護されることが何度かあったので、事業所を利用することによって、一人での外出を防ぎたい。

・様々な変化にあたり、じっくり話を聞いて頂けた事に感謝致します。

・行き届いた心使いで安心して通い・お泊りをお願いできるおかげで自宅での生活が続けられている事大変感謝しております。急な用事でお泊りもお願いする事あり、看護師さん初め皆様にご迷惑おかけして申し訳なく思っています。これからもよろしくお願いしたいと思います。

・料金は定額であるが、収入がある事が前提であって、決して手厚い平等な対応ではない。行政は自立をすすめるが独居であり、90才を越す年で一人暮らしは簡単ではないと思う。料金も決して安くはない。自分の老後考えた時、不安は増すばかり。

・年齢的に日々変化あり。柔軟な対応と共に職員の方々が「出来る事」「出来ない事」は常に明確にして頂きたく（利用してから最初の話とは違うと、家族は困惑）主治医、専門職の判断を家族に伝えて頂き（情報）知恵を借り、利用している家族が今どうしたら良いかを選択しながら家族も考え行動できたら、お互い負担軽減になるのではと思います。

・自分が認知症である事を認識していない人をきちんと見ていただける施設だと思います。いつも笑顔で対応していただけるスタッフさんばかりなので助かります。

・認知度が進むにつれ、顔なじみの顔（方）に会えれば安心できる様だ。やはり急な宿泊の時に助かるが、2、3日後だと泊まれない日があるので、職員さんも満床なの

は大変だと痛感します。

- ・同じスタッフ、場所なので「通い」に「泊り」を入れた時に本人が嫌がる事がなかった。サービス事業所の中にケアマネジャーがいて、高齢での急な体の変化（圧迫骨折、足のケガ等）に応じてレンタル用品の手配、看護師派遣等迅速に対応して頂き大変助かった。

- ・24時間の対応は助かります。仕事の出張時等の不安が無い。

- ・母は外に出かけることが好きなので、もし時間が許せばお散歩とかにも連れて行ってもらえるとありがたい。

- ・自宅で介護したいが、できない家族に代わって家庭的な環境の中で過ごさせたい。本人が落ち着くことで家族も生活も安定する。共倒れにならない為にも、とてもよい制度であり有難いと感じています。

- ・同じスタッフなので、電話口でも安心して依頼しやすい。本人も「いつもの所」という安心感からか、通うことを毎日楽しみにしています。通いの場が泊りの場ともなり、自宅の様に落ち着いた生活が送れるようです。

- ・本人に柔軟な対応性が無くなってきている為、同じ環境でショートステイが出来るのは、とても有難いという理由から小規模多機能型を選びました。実際、本人も慣れた環境で安心して通っています。とても親切に対応して下さっています。

- ・介護の最終段階（看取り）まではカバーできていない制度だと思う。今の利用は通いと月に2回の泊りだけれど、本人がある程度元気なうちはこの事業所を利用しようと考えている。本人が歩けなくなったら、介護付老人ホームに入所しようと考えている。しかし、本人が（家を離れて老人ホームに入所する事の）納得するかどうか難しい事だと思っている。